

編集後記

大学の第一義の存在目的は教育である。開学3年目、教員がなにを考え、どんな授業をしたかが大学の真贋を決める。「私のこの一年」と「私の授業」を本誌（学部顔）の中心に据えたのはこのような理由に基づいている。

高校教育の多様化に加え、推薦入試や前期と後期で異質の選抜試験など大学への入り口が変化したことにより、学力も気力も大幅に違う学生が急増してきた。この多様な学生に対して、教育の質を確保するために、どのように教育プログラムを作り、どのように授業するかが大学の顔の特徴づける。われわれの顔は「教育効果の低さを能力不足や気力不足など学生側にもどしてはならない」なのだ。「何をどのように伝えるか」について不断の努力をすることが教員側の義務である。教育の質の高さ故にその選択を『よかった』との満足を与えることができなければ、本学を選んだ学生に対して我々は恥じなければならぬ。学生あつての大学と呼ぶ所以がここにある。この特集号の目的は「滋賀県立大学環境学部がいかにこのことに徹しているか」を発信することに尽きる。（奥野）

学部顔創り委員会

上野健一、奥野長晴（委員長）、金谷健、杉元葉子、富岡昌雄

環境科学部年報第2号 環境科学部の教育

発行日	1998年3月31日
発行所	滋賀県立大学環境科学部 滋賀県彦根市八坂町2500 TEL：0749-28-8301
発行人	坂本 充
印刷所	サンライズ印刷株式会社

本誌は再生紙を使用しています。